

令和7年度

# 事業報告書及び決算書

社会福祉法人

坂井市社会福祉協議会

## 目 次

### ○事業報告書

事業総括・重点事業の成果	.....	1
1. 法人運営事業	.....	2
1 組織運営事業		
2 組織管理体制事業		
3 財務運営事業		
4 企画・広報事業		
5 調査・研究事業		
6 災害危機管理		
2. 地域福祉活動推進事業		
2-1 福祉のまちづくり事業	.....	7
1 地域共生のまちづくり事業		
2 地域共生のまちづくり事業（参加支援事業）		
3 地域福祉推進活動事業（旧：小地域見守りネットワーク事業）		
4 福祉委員活動の充実		
5 福祉のまちづくり事業（共募事業）		
2-2 ボランティア活動推進事業	.....	10
1 ボランティア活動推進事業		
2 福祉の人づくり事業		
3. 福祉サービス利用支援事業		
3-1 福祉総合相談事業	.....	12
3-2 法人後見設置事業	.....	12
3-3 坂井地域包括支援センター事業	.....	12
3-4 障がい児者特定相談支援事業	.....	14
3-5 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）	.....	14
3-6 生活福祉資金貸付事業	.....	14
3-7 生活困窮者自立支援事業	.....	15
1 自立促進サポート事業		
2 生活たすけあい事業		
3 家計改善支援事業		
4 被保護者就労支援事業		
5 学習・生活支援事業		
6 被保護金銭管理支援事業		
7 住宅確保要配慮者支援事業		

4. 生活支援事業	.....	18
4-1 介護予防・生活支援事業	.....	18
1 地域介護予防活動支援事業（通所）		
2 地域介護予防活動支援事業（通いの場・サロン）		
3 生活・介護支援サポーター事業		
4-2 当事者組織の支援事業（高齢者健康保持支援事業）	.....	20
5. 介護保険事業	.....	21
1 介護保険事業		
【居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、通所介護事業】		
6. 障がい者支援事業	.....	24
1 障がい者支援事業		
【ホームヘルプサービス、共生型生活介護、訪問入浴介護】		
2 三国希望園		
【就労継続支援B型事業（多機能型）、生活介護事業（多機能型）、放課後等デイサービス事業、日中一時支援事業】		
7. 福祉施設運営事業	.....	26
1 春江総合福祉センター運営事業		
2 坂井老人福祉センター運営事業		
3 坂井健康増進センター運営事業		
4 あい愛センター運営事業		
5 社協本部運営事業		
6 三国希望園指定管理運営事業		

# 令和7年度 坂井市社会福祉協議会事業報告

## 事業総括

国では、地域共生社会の実現に向け、これまでの地域福祉活動の推進に加え、地域包括ケアシステムや生活困窮者自立支援などと連動した重層的な「包括的支援体制づくり」を求めている。また、全社協においては、社協の機能および体制強化を目的として「社協基本要項 2025」を発出した。

このような状況のもと、坂井市社会福祉協議会は、社会福祉法人としての基盤強化を進めるとともに、「第3次坂井市地域福祉活動計画（かたいけのプラン）」に基づき、関係機関との連携を深めながら、地域福祉および在宅福祉の推進に取り組んだ。

さらに、法人運営の指針となる「第3次発展・強化計画」で明らかになった課題について、改善に向けた協議と具体的な取組を着実に進め、持続可能な法人運営体制の構築に向けて前進を図った。

## 重点事業の成果

- 1 社会福祉法・社協基本要項 2025 に則した法人運営（第3次社協発展・強化計画）

法令遵守と会議体運営の適正化により組織運営の透明性とガバナンスが強化され、規程整備・研修体系化・DX 推進によって職員の専門性向上と業務効率化が進み、さらに施設整備検討や財務運営の改善を通じて持続可能な法人基盤の強化が図られた。

- 2 お互いさまの心で支えあえる人づくりの推進（第3次地域福祉活動計画）

地域住民の主体的な参加を促す支援や協議体運営、福祉教育・ボランティア育成を通じて、日常的な声かけや出会いの場づくりが進み、地域で支え合う人材と関係性が着実に広がった。

- 3 ふれあい、支え合いの地域づくりの推進（第3次地域福祉活動計画）

地区ふくしの会支援や見守りマップ更新、地域課題の共有と協働の仕組みづくりを進めたことで、多様な世代・団体がつながり、地域全体で支え合う基盤が強化された。

- 4 福祉活動を応援する体制づくりの推進（第3次地域福祉活動計画）

福祉委員会や民生委員との連携強化、研修・情報共有の充実により、住民と

専門職が協働して地域課題に向き合う体制が整備され、地域福祉活動の質と継続性が向上した。

#### 5 在宅福祉サービスの強化(介護保険・障害者総合支援事業)

総合相談・権利擁護・介護予防支援を強化し、地域包括支援センターやCSWとの連携を深めたことで、地域に身近で信頼される在宅福祉サービスの提供体制が充実した。

#### 6 災害への対応強化

災害対策会議の開催、災害ボランティアセンター研修、関係機関との協定締結などを通じて、非常時の初動体制と支援ネットワークが強化され、災害に強い地域づくりが前進した。

※【前年度実績】

## 1. 法人運営事業

### 1 組織運営事業

#### (1) 役員・評議員・各種委員会等の運営

法令を遵守し、定期的かつ適時に会議を運営することで、組織運営の強化を図るとともに、情報公開を推進し、事業運営の透明性向上に努めた。

- ① 理事会 6回(5/29、6/20、11/27、3/6 3/25 3/26) 【3回】
- ② 評議員会 3回(6/19、12/11、3/26) 【3回】
- ③ 三役会 13回(月1回) 【13回】
- ④ 監査会 4回(5/12、7/26、10/28、1/28) 【4回】
- ⑤ 内部監査 各支部1回(2/25～27)・霞の郷デイサービス(3/3)・希望園(3/2)
- ⑥ 苦情解決第三者委員会 1回(7/15) 【1回】
  - 苦情報告件数 9件(福祉サービス4件・その他5件) 【6件】
- ⑦ 市長訪問(挨拶・協力依頼) 懇談会(8/5)
  - 顧問依頼、三役再任報告、事務所移転に関する協力依頼書提出

### 2 組織管理体制事業

法人管理・業務管理・労務管理・人事管理を総合的に行い、人材育成基本方針に基づき職員育成を推進した。

#### (1) 定款・規程等の制定・改正

- 職員就業規則をはじめとする規程等を整備  
改正 20 (全部改正 1・一部改正 19) 【改正 8・廃止 1】

(2) 職員の採用

正規職員	臨時職員	嘱託職員(再)	パート職員	計
2名	1名	1名	3名	7名

※退職者 15名（役員1、正規5、臨時3、パート6） 【17名】

(3) 専門職研修

全社協・県社協等が主催する研修に参加し、専門性向上とキャリアアップを図った。

研修名	月日	人数
県内社協職員協議会 総会・研修会	4/18	5
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	6/10. 11. 7/1	3
社協ワーカー養成研修[新課程]基礎研修	6/11	4
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	7/15. 18	2
社会福祉法人施設経営セミナー「社会福祉法人指導監査実施要綱に基づく組織運営」	8/7	3
社会福祉法人会計実務講座初級コース	8/18～20	1
社会福祉法人会計実務講座入門コース	8/2～4	1
社会福祉法人会計実務講座中級コース	10/19～21	1
社会福祉法人 施設経営セミナー法人会計（基礎編）	9/2	2
社会福祉協議会活動全国会議（全社協）	9/8, 9	2
福祉職員専門課題別研修 ハラスメント(対応困難事例)研修	8/29	2
安全運転管理者講習会	9/12	3
危険物取扱者保安講習	11/4	1
豊田市重層的支援体制整備事業研修会	10/1～2	4
東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	11/27. 28	1
社会福祉法人トップセミナー	12/3	3
地域福祉実践研究フォーラム 2025in ふくい	12/6. 7	4
コミュニティコーピングフォローアップ研修	12/12	10
社協ワーカー養成実践力強化研修 コミュニティオーガナイズング編	12/16	1
市町社協災害時福祉支援活動強化研修	2/26	3

(4) 法人研修

法人方針の共有、スキル向上、組織文化の浸透を目的に全職員対象で実施。

研修名	月日	人数
新人職員研修（社協とは・就業規則・他部門の業務体験等） ※4月採用1名、8月採用1名	4/1～3 8/1.4.5	2
他部門体験実習（あい愛センター、霞の郷デイ、希望園）	4月	新規採用 1名
法人研修1 R6年度事業報告・R7事業計画（動画視聴）	6月～7月	全職員
法人研修2 社協基本要項2025「住民主体」の実践とは ※事前に社協基本要項2025を読み込んで参加	7/10	正職50名
法人研修3 社協基本要項2025（県職員協研修への参加）	9/26	役職員 8名
法人研修4 ファンドレイジング基礎研修 ～坂井市社協として戦略的な資金確保について考える～	10/3	役職員 18名
法人研修5 ファンドレイジング基礎研修（質疑応答）	12/2	役職員 10名
法人研修6 相談支援・事例検討のやり方を学ぶ （発展強化計画 相談支援プロジェクト）	2/9	常勤職員 21名

#### (5) 労働安全衛生

##### ①アルコールチェック

拠点ごとにアルコールチェッカーを設置し、業務中の運転前にチェックを実施。

7,102件すべて異常なし

##### ②メンタルヘルス相談

カウンセラー（臨床心理士）による個別相談会を実施。2回（9月・2月）

管理職の職員への関り方等でカウンセラーに個別に相談。

##### ③ストレスチェック

年1回実施。産業医による評価。

#### (6) 事故対応等

事故報告件数 44件【63件】

<内訳>

物損事故	14
転倒	2
紛失	2
その他（交通違反、提出漏れ、手続き不備等）	26

（※内労働災害保険事故3件、苦情2件）

### 3 財務運営事業

健全な経営に向けた財務管理を行い、持続的な財源確保に努めた。また、施設の適切な維持管理を実施した。

(1) 会費・寄付金	一般会費	9,694,820円	【9,749,495円】
	賛助会費	1,011,431円	【900,768円】
	寄付金	1,224,361円	【600,266円】

(2) 透明性向上

- ①計算書類・現況報告書等の公表
- ②内部留保の明確化

4 企画・広報事業

福祉活動や新規事業、ボランティア情報等を広く市民に発信し、福祉意識の向上を図った。

(1) 広報誌「社協だより」 年 4 回発行 (6 月・9 月・12 月・3 月)

- ①広報委員会 理事 6 名 4 回開催 (6/5、9/5、11/20、3/5) 【4 回】
- ②編集委員会 職員 4 名 (LINE にて随時協議)

(2) 第 20 回坂井市社会福祉大会の開催

- 11 月 8 日 (土) ハートピア春江
- 参加者 196 人 【227 人】
- 功労表彰 39 人 【30 人】 (民生委員 16、福祉委員 3、民間社会福祉団体 5、ボランティア団体・個人 11・自立構成 1・永年勤続 3)
- 感謝状 2 人 【2 人】
- 記念講演：阿部由紀氏 (一般社団法人 BIGUP 石巻 代表理事)

(3) ホームページ更新

- 更新回数 53 回 【75 回】 (職員募集、福祉情報、社協事業のお知らせ等)
- 居場所マップの拡充、支部事業の随時発信

(4) 一般募金給付金事業 災害見舞金給付 4 件 【0 件】

緊急災害支援助成金(行政区) 0 区 【0 区】

(5) 車いす無料貸出事業

けが等での一時的に車いすが必要な人への無料貸出 98 件 【77 件】  
(三国 13 件、丸岡 30 件、春江 11 件、坂井 44 件)

(6) 業務 D X 化

デジタル技術を活用して業務効率化を図った。

- 電子決裁システム X-point 導入 (5 月～試行、6 月正式運用)  
決裁時間短縮、決裁状況の見える化、紛失リスクの削減等を図った。
- 奉行クラウド (勤怠管理)、LINEWORKS (社内ネットワーク)、キントーン (業務管理) の活用促進
- 「坂井市社協情報セキュリティ宣言及び基本方針」、「LINE WORKS 運用ガイドライン」、「ソーシャルメディア運用ガイドライン及び運用ポリシー」の周知
- Windows10 サポート終了に伴う PC 更新 (全ての PC をノート PC とモニターに変更)、ペーパーレス化推進  
職員会議の資料は PC 画面上データでの確認に変更  
すべての社協内拠点 (内部 Wi-Fi) で使用可能となった。

## 5 調査・研究事業

### (1) 第3次発展強化計画 課題解決プロジェクト (PJ)

#### <法人運営PJ② 社協組織あり方検討>

福祉委員あり方検討委員会 委員 12名 (福祉委員、民生委員代表等)

委員会 3回 (4/18、5/27、6/10) 報告書提出 10月

#### <施設整備PJ>

坂井市社協施設等検討委員会 1回 (4/16)

社協施設検討委員会実務者会議及び市との打ち合わせ 10回 (5/26、6/23、7/17、8/13、8/27、9/22、9/26、12/23、1/23、3/10)

内部検討会議 9回 (4/17、4/23、5/14、5/19、5/22、8/8、9/16、11/17、11/20、)

### (2) 坂井市社会福祉法人連絡会「福ふく」支援

市内の社会福祉法人の組織化、専門性を活かし連携して地域課題解決のための公益活動等に取り組むことを目的に R3 年度設立。現在 22 法人加入。新たに、将来を担う子ども達の職業教育、福祉避難所に関する情報共有、検討に取り組んだ。

① 年次総会 (5/8) 15 法人参加

② 運営委員会 4回 (6/26、8/20、10/23、4/15)

③ 研修会 2回 (8/4 労務管理セミナー、10/16 働く人のための心の健康セミナー)

④ 共催事業 2回 (8/6 ふくしのおしごとミステリーバスツアー、1/10 高校生進路選択セミナー フクシのガッコウ)

⑤ 福祉避難所に関する取り組み (11/17 意見交換会、3/18 福祉避難所避難訓練)

⑥ 広報 (法人連絡会ホームページ更新、社協だより掲載)

### (3) 福祉専門職養成実習の受入

① 福井県立大学 ソーシャルワーク見学実習(2年) 8/8 9人

② 福井県立大学 ソーシャルワーク実習・演習 (11/4~14) 1人

③ 中部学院大学 ソーシャルワーク実習 (8/1~19、9/1~17) 1人

④ 福井大学医学部 介護実習 (10/24.31) 9人 (霞の郷デイ、希望園、あい愛)

⑤ 丸岡高校 ジョブシャドウイング (7/11) 1人

## 6 災害危機管理

### (1) 災害対策準備室会議

● 大雪対策として4回開催 (1/21. 22. 23. 25) 【10回】

● 感染報告管理：感染者 12人 (インフル5・コロナ7) 【23人】

### (2) 災害時における社協ネットワーク相互支援協定に基づく相互支援

### (3) 災害ボランティアセンター連絡会・研修会

● 連絡会参加 (7/18) 5人

● 研修会参加 11/29 (仕組み・役割理解、ICT活用) 17人

1/31（災害 VC マッチングシミュレーションキットで運営体験）8人

- 災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定締結

(4) 福井DWA T育成

- ビギナー研修受講・登録（7/24）3人
- 坂井・奥越地域保健・福祉・環境関係職員研修参加（10/2）1人
- 県災害福祉支援ネットワーク協議会（オンライン）参加（8/12）2人
- 県避難生活支援リーダー／サポーター研修会 オブザーバー参加 2人

(5) 市・市社協・ライオンズクラブ災害福祉活動に関する連携協定締結（R7. 4. 3）

## 2 地域福祉活動推進事業

### 2-1 福祉のまちづくり事業

第3次地域福祉活動計画に基づき、「みんなが主役 ふだんのくらしのしあわせづくり」の実現に向け、住民主体の福祉のまちづくりを推進した。

#### 1 地域共生のまちづくり事業

「担い手」「受け手」という関係を越え、多様な地域福祉活動が生まれ育つよう、住民主体の活動を支援した。また、関係機関とのネットワーク強化を図り、生活支援体制の充実に努めた。

##### (1) コミュニティソーシャルワーカー（CSW、兼生活支援コーディネーター）の配置

第1層（市域）および第2層（支部）にCSWを配置し、担当圏域で地域支援を実施。

【配置数】市域全体：8名（第1層1名、第2層：三国4名、丸岡2名、春江3名、坂井2名 ※兼務含む）

##### (2) 地域課題解決の検討および地域福祉活動の運営支援

###### ①協議体の運営

地域課題解決に向け、住民とともに検討する協議体を運営した。

協議体名	実施日	参加人数
<第1層>支部社会福祉協議会委員会連絡会	R8. 2/10	8
<第1層>第3次坂井市地域福祉活動計画推進委員会	R8. 2/24	11
<第1層>移動サービス実践団体連絡会	R7. 10/20	4
<第2層：三国>支部社会福祉協議会委員会	年4回	51
<第2層：丸岡>支部社会福祉協議会委員会	年3回	26

<第2層：春江>支部社会福祉協議会委員会	年4回	49
<第2層：坂井>支部社会福祉協議会委員会	年5回	63
<第2層：三国>地区ふくしの会会長連絡会	年3回	33
<第2層：丸岡>地区ふくしの会会長連絡会	年2回	8
<第2層：春江>地区ふくしの会会長連絡会	年2回	15
<第2層：坂井>地区ふくしの会正副会長・支部社協委員長連絡会	年1回	4

②市民ニーズと生活支援等サービスのコーディネート

- 社協ホームページ内「坂井市地域情報検索サイト」運用開始（7月～）
- 行政からの移動販売車の稼働調査・一覧提供
- 施設からの「訪問理容」問い合わせへの資源調査・情報提供
- 法人連絡会共催「ふくしのお仕事ミステリーバスツアー」企画調整
- 福祉委員・民生委員等との連携による潜在ニーズの掘り起こし

③福祉啓発事業

地域共生社会を考える「ふくし映画会」（12/13） 参加者 78人

認知症をテーマにした実話に基づく作品「オレンジランプ」を通じた啓発

④地域福祉推進基礎組織（地区ふくしの会）への運営支援

- 第4次地域福祉活動計画策定に向けたニーズ把握ワークショップを実施
- 地区担当制を設け、各地区の基礎組織活動を支援

支部	組織数	取組み数	特徴
みくに支部	19	65	役員選出の難航など組織運営体制の変更に伴う相談が増加しており、活動の意義や見守り活動の再理解に向けた基盤支援を重点的に支援。
まるおか支部	8	25	こどもの居場所づくりなど、地域特性を活かした新たな拠点が誕生しており、多様な活動が円滑に進むよう企画・運営を支援。
はるえ支部	5	26	区長会等へ出向き、区への理解啓発を丁寧に行い、各区や地域全体の見守り活動が活発化するように支援。
さかい支部	4	11	「認知症」の疑いのある対象者への個別ケア会議の事例支援を機に、個別課題で終わらず、「認知症」研修など地域課題として福祉理解者が増えるよう支援。

⑤各種会議への参加

自立支援型地域ケア会議、意見交換会、キャラバン・メイト交流会、多職種連携カンファレンス、個別ケア会議、県情報交換会、全社協研究協議会、包括ケアシステム研修会などへ参加

⑥その他

- CSW 取組分析会議 (R8. 2/2)
- 社会福祉法人連絡会・地域包括支援センターとの連携強化

- 各支部 CSW と包括支援センターによる定期的な情報交換（定例 MT 等）
- 課題のある地区への重点介入支援
- 個別ケース会議を通じた支援者拡大・理解啓発
- 事務局機能を担う地区（丸岡・春江）への伴走支援

## 2 地域共生のまちづくり事業（参加支援事業）

利用者のニーズに応じた丁寧なマッチングやメニューづくりを行い、社会とのつながりを創出した。

### (1) 対象件数・対応件数

事業対象者 9 人（マッチング数 3 件）

訪問回数 30 件 電話回数 44 件 その他 29 件

### (2) 事業から生まれた取り組み

#### ①他事業主催の活動に参加、社会参加の機会を得る

就労準備支援事業「いも堀体験」への参加（農業者・ボランティアとの交流）

#### ②個人の能力に合わせた参加支援

- 特技を生かした子ども食堂での巻きずし企画・調理師として参加
- 家族以外とコミュニケーションが取れなかった利用者が、参加支援員とのメールのやり取りを通じ外部参加へ移行
- 漠然と地域とつながりたい意欲のある利用者へ CSW と共同アプローチ

### (3) CSW との情報交換

- CSW5 名と参加支援コーディネーターによる情報交換 5 回
- 地域アプローチ実施 1 ケース（60 代女性ケース）

## 3 地域福祉推進活動事業（旧：小地域見守りネットワーク事業）

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域全体で見守る体制づくりを推進した。

### (1) 第 3 次 坂井市地域福祉活動計画（かたいけのプラン）の推進

- 地域福祉活動計画推進委員会（市地域福祉計画推進会議と合同開催）  
次期活動計画策定に向けた進捗確認・課題抽出  
第 1 回（R8.2/24） 参加者：11 人

### (2) 地域福祉推進基礎組織による小地域見守りネットワーク活動の推進

#### ①見守りマップ作成・更新支援（30/35 地区）

CSW が各地区へ出向き、「福祉マップ活用ガイドブック」を用いて周知・助言

#### ②「福祉マップ活用ガイドブック」活用促進

- 平常時の声かけ、災害時の安否確認につながる具体的運用を支援
- 役員会や研修会等への参画、成功事例提供、伴走支援

#### ③市災害時避難行動要支援者支援制度・個別避難計画の活用促進（31/35 地区）

マップ作成時に対象者情報の再確認と地域内での支援検討を推進

#### 4 福祉委員活動の充実

##### (1) 福祉委員会の開催

###### ① 地区福祉委員会（基礎組織圏域）

地区の課題共有と委員間の連携強化のため、全地区で開催。事例集等を用い、地域での具体的な困りごとへの対応を検討した。

開催日数：18日 参加者数：380人（参加率：57%）

###### ② 支部福祉委員会（旧町圏域）

各支部の重点計画に基づき開催した。

三国（年4回）、丸岡（年3回）、春江（年3回）、坂井（年2回）

###### ③ 福祉委員幹事会、正副幹事長会（市圏域）

活動状況・共通課題の共有、広報紙検討、次期福祉活動計画への意見集約

##### (2) 担い手の人材育成

###### ① 情報紙「ささえ愛」発行（8月・11月・3月）

###### ② 代表委員研修会（10/23） 参加者：27名

テーマ：「第4次地域福祉活動計画に向けての意見交換会」

###### ③ 民生委員・児童委員と福祉委員の連絡会（町圏域）

三国（8/4）、丸岡（10/24）、春江（9/4）、坂井（10/21）

###### ④ 基礎組織会長研修会（12/18） 参加者：15名

テーマ：「地域福祉活動計画および地域ニーズについて」

###### ⑤ 福祉委員の事例集・手引きによる活動支援

###### ⑥ 第11期（改選）委嘱式・研修会の実施

###### ⑦ 福祉委員あり方検討委員会（R7.8/20、11/19、R8.2/17）

持続可能な活動体制構築に向けた提言書をとりとまとめ

#### 5 福祉のまちづくり事業（共募事業）

##### (1) 区（自治会）設備修繕助成金事業（遊具、ゴミステーション）

6件（213,000円） 【7件】

##### (2) 地域福祉推進基礎組織活動助成事業

1,816,616円 内訳：基礎活動事業（30地区）【35地区】

地域のつながり応援事業（29地区）【35地区】

## 2-2 ボランティア活動推進事業

### 1 ボランティア活動推進事業

一人ひとりが主役となり、ボランティア・市民活動への参加を促進し、安心して暮らせる地域づくりを目指した。

#### (1) 知らせる・つなげる

① ボランティアマッチング

相談：298件【256件】 斡旋(紹介)：333件【280件】

登録：個人27人【33人】 団体106団体【86団体】

② 情報発信

・情報紙「ボランティアハート」発行 3回(7月・10月・3月)【3回】

・活動紹介パネル掲示 (計7回)

・ホームページ更新 (19件)

・県社協「ボランティア体験2025」参加者受付(相談・斡旋3件)

③ 講師リスト更新 (登録：72団体・個人)

随時サロン運営者等へ配布、講師紹介時に活用

④ 音訳CDを希望する視覚障害者へ配布 実績10人【11人】

広報さかい、議会だより、社協だよりをボランティアグループが作成

市秘書広報課・市議会・県立図書館へも送付

⑤ ボランティア活動推進事業(共募 歳末)

さかい支部 一人暮らし高齢者歳末訪問事業(12/19～26) 対象者200人

(2) つながる 運営組織の連携強化

① ボランティア・市民活動センター運営委員会 4回【3回】

あり方検討会議、ボランティアつながり会企画、アンケート調査の実施等

② 支部ボランティア連絡会 三国4回、丸岡2回、春江3回、坂井1回

③ ボランティア福祉イベント

三国：あい愛まつり、ふくしのつどい(R8.1/10)、支部ボランティア交流会

丸岡：ボランティアハートフェス

市域：第4回ボランティアつながり会ボランティア体験交流会(11/2)

(3) 学び、高める

市災害ボランティアセンター連絡会への参画 計3回

(7/18連絡会、11/29研修会、1/31シミュレーション研修)

## 2 福祉の人づくり事業

(1) さかい・ふくし人講座事業(イベントでのボランティアカフェ開催)

ボランティアの概要・登録説明、ボランティア活動者との情報交換等

三国：あい愛まつり(11/2) 協力団体20団体【22団体】

丸岡：ボランティアハートフェス(11/24) 協力団体19団体【23団体】

春江：ボランティアカフェ(11/10～14) 協力団体20団体【8団体】

坂井：ふれあい食堂きべ丸(11/24) 協力団体1団体【1団体】

(2) 福祉教育事業

小中学校での福祉教育を支援するとともに、地域の大人、施設、学校が一体となって福祉教育に取り組めるように共に育む『福祉共育』を推進した。

① 学校支援 67件【72回】

共育サポーター 38人【42人】 外部講師 256人【267人】

- ・依頼書のデジタル化（QRコード）
- ・当事者講演、地域住民を交えた発表会、施設・サロン訪問等の多様な支援
- ② 市内小中学校福祉共育活動報告書の作成
- ③ 福祉教育学習時の助成（ゆめプラン） (20/24校)【22校】
- ④ 福祉教育担当教諭連絡会（オンライン） 第1回（5/13） 第2回（3/3）
- ⑤ 福祉共育サポーター・ネットワーク連絡会
  - ・サポーター連絡会：研修、意向調査 (参加13人)
  - ・ネットワーク連絡会（8/21）：事例報告、県大講師による講話（参加28人）

### 3. 福祉サービス利用支援事業

#### 3-1 福祉総合相談事業 (市補助事業)

##### 1 相談

- (1) 法律相談 234件（三国48、丸岡62、春江63、坂井61）【251件】
- (2) 職員による相談 73件【88件】

#### 3-2 法人後見設置事業

##### 1 法人後見事業

- (1) 後見支援（受任1件）

月1回の訪問により、保護費入金確認、施設利用料の口座振替確認、生活費拠出、身体状況等の確認等を実施。
- (2) 市社協法人後見運営委員会  
受任相談があった際に開催するが、本年度は0回

#### 3-3 坂井地域包括支援センター事業 (市受託事業)

生活困窮や認知症独居高齢者の相談が増加し、身寄りのない高齢者の成年後見申立て支援が増えている。

市高齢福祉課と協議し、地域共生社会の推進や重層的な支援体制の構築に向けて生活支援コーディネーターと連携してセンター運営を行った。

## 1 総合相談支援業務

(1) 相談件数 1,168 件（電話 542 件、窓口 315 件、訪問 311 件） 【1,295 件】

電話・訪問は増加、窓口は減少

### (2) ネットワーク構築

- ① PRチラシ、介護予防出前教室チラシ等による周知
- ② 民生委員定例会・区長会・青空クラブ等での説明、PR、周知
- ③ 見守りマップづくり等への参加による情報交換と実態把握

## 2 権利擁護業務

身寄りのない認知症高齢者に対する成年後見申立て支援や、高齢者虐待が疑われる事例への対応について、市高齢福祉課と密に連携し、慎重かつ迅速に取り組んだ。

対応件数 51 件（成年後見 14 件、高齢者虐待 35 件、消費者被害 2 件）【94 件】

## 3 介護予防・生活支援サービス事業

介護予防ケアマネジメント業務 延 672 件 【535 件】

## 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- (1) 個別地域ケア会議の開催 5 回
- (2) 坂井圏域地域ケア会議の開催 1 回
- (3) 坂井町圏域顔の見える多職種連携会議 1 回
- (4) ケアマネ支援 43 件（面接・電話：29, 同行訪問：10 件, 会議等：4 件）【105 件】

## 5 指定介護予防支援事業

予防給付にかかるケアマネジメント業務 延 990 件 【1,035 件】

## 6 その他の地域支援事業

- (1) 介護予防教室・出前講座 16 回 参加者 延 187 人
- (2) 在宅ケア出前講座 5 回 参加者 延 59 人
- (3) 家族介護教室・交流会の開催 3 回 参加者 延 25 人
- (4) 多職種連携カンファレンス研修会の開催 1 回 参加者 23 人
- (5) 認知症地域支援推進員活動の実施
  - 認知症個別相談会（専門機関相談員） 3 回 参加者 6 人
  - 認知症研修会（一般住民 対象） 1 回 参加者 21 人
- (6) 高齢者実態把握事業（未受診・未検診者） 14 件

7 包括運営委員会 1 回開催（事業計画、運営状況の共有と意見交換）

## 8 各種研修会参加

県地域包括・在宅介護支援センター協議会や市、職能団体等が開催する研修会

### 3-4 障がい児者特定相談支援事業

地域の相談体制に応じ、障がい児を中心に新規受入を実施。保育・教育機関との、連携が増加。

- (1) 相談件数 420 件 【365 件】
- (2) 登録者数（月平均） 90 件（者 55 件・児 35 件）【86 件】
- (3) 新規計画 96 件 【90 件】
- (4) モニタリング 321 件 【276 件】
- (5) 研修参加 内部研修 5 回 10 名・外部研修 20 回 23 名

### 3-5 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）（県社協受託事業）

1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が不十分な方に対する福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス

- (1) 相談件数 3,996 件（認知 1,485、知的 1,344、精神 1,160、その他 7）【4,447 件】
- (2) 新規契約数 16 件 【16 件】
- (3) 解除契約数 14 件 【9 件】
- (4) 実利用者数 90 人 【88 人】
- (5) 生活支援員数 7 人 【9 人】

2 専門員・生活支援員の資質向上及び人材育成

市社協生活支援員連絡会 2/9 3 人

3 研修会・連絡会参加

専門員連絡会、運営状況等現地調査、後見制度連携会議、生活支援員研修会、困難事例会議 等

### 3-6 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

1 生活福祉資金貸付事業

(1) 通常貸付

低所得者、障がい者世帯、高齢者世帯に対して、必要な資金の貸付、相談援助を行い、民生委員・児童委員の協力を得ながら、経済的自立と生活意欲の助長促進を支援した。

相談件数 22 件（内貸付件数 10 件（福祉費 1 件、緊急小口 9 件）） 【24 件】

(2) 新型コロナウイルス感染症特例貸付フォローアップ事業

コロナの影響による休業や失業で、収入が減少した世帯に対して行った特例貸付の償還開始後の手続き支援や相談業務。

	R6年度	R7年度
償還免除	9件	10件
償還猶予	24件	6件
手続き補助	0件	0件
償還相談	25件	27件
つなぎ	0件	1件
計	58件	44件

※市社協での対応件数

2 運営

- (1) 生活福祉資金調査委員会・生活たすけあい審査会 5回  
(7/10、8/8、10/10、11/7、3/11)
- (2) 生活福祉資金担当者連絡会 2回 (12/9、2/6)

3-7 生活困窮者自立支援事業 (市受託事業)

1 自立促進サポート事業

生活保護に至る前段階の生活困窮者に対し、自立相談支援事業として相談支援を実施した。相談者の属性・世代・相談内容を問わず包括的に相談を受け止め、課題整理を行い、利用可能な福祉サービスの情報提供を行った。また、自立相談支援機関のみでの対応が困難な場合には、関係機関と連携しながら支援を進めた。

- (1) 相談件数 新規 289件 【258件】 内プラン策定：72件 【88件】
- (2) 資質向上 外部研修 25回、市庁舎内研修 15回 (さかまる・ここサポ研修)
- (3) 啓発活動 事業紹介チラシ作成 (住居確保給付金・ここサポ)
- (4) 市役所庁内連携参加  
月1回：生活困窮者支援事業定例会 (福祉総合相談課/支援調整会議)  
月1回：事業ミーティング (困窮関連事業の進捗確認)  
年8回：要保護児童対策地域協議会実務者定例会  
年1回：成年後見地域連携ネットワーク会議、ひきこもり・不登校支援連絡協議会

2 生活たすけあい事業 (独自事業)

(1) 小口現金の貸付と現物支給の実施

自立促進サポート事業等と連携し、生活に困窮する方々(世帯)に対して小口現金の貸付および食糧・日用品などの現物支給を実施した。コロナ特例貸付の受付終了に伴い、生活保護決定や年金支給日までの「つなぎ支援」が増加し、

同一利用者への複数回貸付も見られた。また、自立支援金や非課税給付金につなぐ支援も行った。

延支援件数 184件 【223件】 ※現物支給+貸付件数の数字

利用者数 34人 【27人】

貸付件数 44件 【54件】

貸付額 1,157,800円 (生活保護・給与・年金までのつなぎ等) 【1,646,563円】

現物支給 140件 (米、食糧、衣類) 【169件】

### 3 家計改善支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計状況を整理し、家計の視点から情報提供・助言・指導を行うことで、家計管理能力の向上を支援した。物価高騰の影響もあり、基本的な家計の見直しを求める相談が徐々に増加している。

(1) 支援相談件数 延 693件 【684件】

(2) 利用者数 45人 (内、終結 18人) 【37人】

(家計再生プラン作成数 35件 情報提供のみ他 10件)

(3) 資質向上 外部研修 3回

### 4 被保護者就労支援事業

市福祉事務所と連携し、生活保護受給者のうち稼働能力を有する人に対して、就労および転職支援を行い、自立の促進と自己肯定感の向上を図った。

(1) 支援者数 10人 (新規 5人、継続 5人)

性別：男 6人、女 4人

類型：障害 0人、傷病 2人、母子 0人、高齢 0人、外国籍 2人、その他 6人

(2) 支援の成果

新規 5人中 4人就労、1人増収で保護廃止

継続 5人中 1人就労、1人増収で保護廃止、病休 2人、求職中 1人

### 5 学習・生活支援事業

被保護および就学援助受給世帯の中学生を対象に学習指導を実施した。通常の学習支援に加え、受験対策座も併せて実施した。

(1) 開催回数 年 45回 【49回】

毎週土曜日 14:00～16:00 坂井老人福祉センター

受験対策教室 (7月～2月) 16:00～17:00 ※同日延長で実施

(2) 登録者数 25人 【27人】

(3) 延べ利用者数 315人 (出席率 36%) 【361人・出席率 41%】

(4) 学習支援員 7人 (一般 7人、大学生 0人) 延べ従事者数 183人 【220人】

(5) 送迎対応 6人希望 (タクシー送迎)

## (6) 支援の成果

- ・3年生全員志望校合格
- ・理科15点向上の例（受験対策科目を数学と理科に集中的に行った）
- ・個別・集団併用の支援スタイルでの受験対策教室実施（希望に応じて）
- ・面接練習の実施（推薦入試向け）
- ・地域の賛同者や賛同企業が増え、お菓子の寄付も増加。
- ・参加者の担当ケースワーカーと連携し、家庭状況を把握。学習支援教室利用時にも精神的ケアや情報収集に努めた。

## 6 被保護金銭管理支援事業

金銭管理能力に課題がある生活保護受給者に対し、伴走型で日常生活費の管理支援を行った。併せて、生活の安定に向けた支援や金銭管理に関する教育的支援を実施し、金銭管理への意識向上と自立に向けた意欲・能力の強化を図った。

(1) 新規利用者数 9人（内プラン策定9件） 終結6人（男3、女6）

(2) 支援数 161回 【119回】

CW同行56件、電話20件、面接1件、訪問69件、他機関連携2件、  
会議2件、日常生活指導0件、その他11件

### (3) 支援の成果

- ・電気代・水道代などの支払いについて利用者に適宜働きかけを行い、支払いが遅れることはあっても滞納の減少につながった。
- ・当初は収支の使い方が分からず支援者任せであった利用者も、毎月家計表を用いて収支の確認をすることで、自ら家計管理を考える姿勢が見られるようになった。
- ・ケースワーカーに加え、関係機関や民間事業者とも連携し、支援体制の幅が広がった。
- ・利用者9名のうち4名が日常生活自立支援事業へ移行し、通帳・印鑑の預かりを開始したことで、以前より安定した生活が送れるようになった（いずれも本人の同意による移行）。

## 7 住宅確保要配慮者支援事業

住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを養育する者、その他住宅の確保に特に配慮を要する者）について、民間賃貸住宅への円滑な入居促進および居住継続の支援を行った。

### (1) 相談の受付・属性

住まいに関する相談81件（内：法に基づく事業28件、相談助言53件）

相談経路：本人35件、家族・友人5件、民間機関等41件

年代：10代1人、20代12人、30代14人、40代9人、50代20人、

60～64歳5人、65～69歳3人、70～74歳10人、75歳以上7人

## (2) 主な支援結果

- ① 住まい成約件数：18 件（民間アパート、市営住宅、空き家活用 他）
- ② 住まい調整中：2 件（審査待ち、内見中 他）
- ③ 住まい未成約：1 件（住まい以外の課題を優先 他）

## (3) 取り組みの成果\*

- ・「坂井市居住支援連絡会」を設置したことで分野横断的に“居住”に関する課題を共有できる体制が整った。
- ・過去2年間の相談傾向から、住まいの課題は「高齢・低年金層」「氷河期・派遣切り層」「ひとり親層」に集中していることが明らかになった。
- ・どの世代にも共通して、保証人不在や保証会社の審査不通過といった“身寄り問題”が存在することが確認された。
- ・「低廉な物件を知りたい」などの相談は、必ずしも住まい支援につなぐ必要がないケースもあることが分かった。

# 4. 生活支援事業

## 4-1 介護予防・生活支援事業（市受託事業）

### 1 地域介護予防活動支援事業（通所）

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、週1回の通所による介護予防サービスを提供した。また、オーラルフレイル講座や認知症サポーター養成講座、出前講座など、学びの機会や地域住民とのつながりを促進する取り組みを行い、介護予防意識の向上に努めた。

	実施回数(回)	延利用者数(人)	登録者数(人)
あい愛サロン(三国)	188 【185】	2,188 【1,865】	51 【50】
陽だまりサロン(丸岡)	144 【141】	963 【999】	25 【21】
友遊クラブ(春江)	99 【98】	1,180 【1,243】	30 【27】
おいでの会(坂井)	99 【97】	1,082 【1,029】	24 【26】
合計	530 【521】	5,413 【5,136】	130 【124】

- ・全支部で「フレイル予防出前講座」や専門職による健康講座を実施し、セルフチェックの習慣化を図ることで介護予防への意識向上につながった。
- ・学生（T キャンプ）や地域ボランティア、施設専門職を招いた講座を積極的に開催し、全支部で「地域団体との交流事業」を達成。多世代交流を通じて社会

参加意欲の醸成を図った。

- ・春江支部「いちい荘」の閉館に伴い、利用者との丁寧な合意形成を行い、令和8年度からのコミュニティセンターへの移行へむけ、送迎ルート再編や備品管理などの準備を進めた。

## 2 地域介護予防活動支援事業（通いの場・サロン）

地域高齢者の介護予防、生きがい・つながりづくりを目的に、住民が主体となって世代や分野を超えて取り組む地域共生型の集いの場づくりを推進した。また、運営者に寄り添いながら、活動内容の相談対応や奨励金の案内を行い、サロンの立ち上げおよび運営の充実を支援した。

	開催回数(回)	参加者数(人)	実施箇所(区)	実施サロン数
三 国	514 【497】	6,700 【6,249】	83 【89】	42 【41】
丸 岡	510 【576】	5,636 【6,409】	56 【50】	30 【31】
春 江	350 【363】	5,725 【5,634】	54 【56】	46 【46】
坂 井	151 【153】	2,331 【2,339】	12 【14】	13 【14】
合計	1,525 【1,589】	20,392 【20,631】	205 【209】	131 【132】

- ・新規立ち上げ：13 サロン（三国：6、丸岡：2、春江：4、坂井：1）
- ・奨励金交付：38 件（三国：9、丸岡：12、春江：7、坂井：10）
- ・通いの場・サロン運営者連絡会の開催（計2回）
  - 第1回：研修会「認知症の症状とその対応」（7/5開催 参加者31名）
  - 第2回：7年度事業・助成金・奨励金説明、研修「ヒアリングフレイル」（三国 R8.1/22、丸岡 1/31、春江 1/26、坂井 1/21開催）
- 新規事業「居場所立ち上げ相談会」を区長を通じて周知し、相談のハードルを下げたことで、令和8年度の新規登録や協力者増加につながった。
- 寄付された囲碁・オセロ等のボードゲームを希望サロンへ提供し、運営負担の軽減と活動内容の充実を図った。
- 各支部で「地域資源リスト表」を作成し、コミュニティセンター単位での活動状況を一覧化。新拠点設置の検討ツールとして活用し、本会HPや市地域ケア推進会議等で周知した。

## 3 生活・介護支援サポーター事業

元気な高齢者が生活・介護支援サポーターとして活動することで、自身の介護予防を促進するとともに、一人暮らし高齢者等への定期訪問により、話し相手・安否確認・環境整備などの支援を行った。

(1) 生活・介護支援サポーター事業

	登録者数(人)	活動者数(人)	活動回数. 利用回数(回)
サポーター	68 【77】	42 【40】	延 1,381 【延 1,259】
利用者	76 【65】	—	延 1,342 【延 1,244】

・連絡調整・相談対応件数：488 件 【335 件】

(2) 生活・介護支援サポーター養成事業

① サポーター養成講座 修了者数 12 人 【12 人】

- 開催方法を変更。(講義の時間数を減らし、実習とも支部ごと実施)

② ステップアップ講座 1 回 (12/20)

講義 「高齢者との接遇、その心構えについて」

③ 座談会 (事例検討・意見交換)

三国・坂井 1 回 (3/12) 10 人／丸岡・春江 1 回 (3/16) 11 人

- サポーター通信を年 2 回発行し、講座変更点や研修報告を周知した。
- 利用者状況に応じ、2 人態勢での訪問を導入し、サポーターの負担軽減と活動の標準化を図った。
- 地域包括支援センター等への周知を強化した結果、新規利用者が前年度比 3 割増となり、サポーター稼働率も約 1 割向上した。

4-2 当事者組織の支援事業 (市補助事業、高齢者健康保持支援事業)

市身体障害者福祉協会、市町心身障害児者福祉連合会、市シニアクラブ等の事務局として、各団体の自主性を尊重しながら運営支援を行った。

高齢者活動では、スポーツレクリエーション、体力測定、サロン開催など、地域の実情に応じたフレイル予防活動を推進した。また、趣味活動や施設見学等の研修を通じて、高齢者の社会参加と交流の機会を創出し、シニアクラブの活性化に努めた。

事務局運営では、市と 4 地区 (三国・丸岡・春江・坂井) と連携し、毎月の担当者会議で課題整理を行った。

身体障害者福祉協会および心身障害児者福祉連合会においても、会員同士の交流機会を提供し、閉じこもり防止に寄与した。

## 5. 介護保険事業

データ連携システムの導入をはじめとする ICT 機器の活用により、業務の効率化、サービスの質の向上、働きやすい職場環境の整備に取り組み、人材の確保・定着および経営の安定化に努めた。また、一昨年度から運用を開始した BCP に基づき、訓練や研修の実施に加えて内容の見直しを継続的に行い、自然災害や感染症発生時にも安定してサービスを提供できる体制の構築を進めた。

### 1 ケアプランセンター事業（介護保険）

種 別	月平均利用者数	年延利用者数
介護プラン	75 【 82】	897 【985】
予防プラン	42 【 29】	503 【350】

### 2 ホームヘルパーステーション事業

#### (1) 介護保険

種 別	月平均利用者数	年延利用者数
介護サービス	27 【 30】	4,551 【5,193】
予防サービス	11 【 9.7】	782 【 654】
サービスA	0 【0.08】	0 【 4】

#### (2) 障がい者支援

種 別	月平均利用者数	延年間利用者数
居宅介護等	71 【113】	8,388 【8,015】
移動支援	9.4 【8.0】	250 【 224】

### 3 霞の郷デイサービスセンター事業 定員 30 人 営業日数 309 日

#### (1) 介護保険

種 別	月平均利用者数	年延利用者数	1 日利用者数
介護サービス	38 【 49】	5,133 【5,924】	16.6 【 19.6】
予防サービス	12 【 12】	744 【800】	2.4 【 2.6】

(2) 障がい者支援

月平均利用者数(人)	延年間利用者数(人)	1日当りの利用者数(人)
4.8【2.5】	630【301】	2.0【1.0】

4 訪問入浴介護事業

(1) 介護保険

種別	月平均利用者数(人)	年延利用者数(人)
介護サービス	11【13】	752【809】
予防サービス	0【0】	0【0】

(2) 障がい者支援

月平均利用者数(人)	延年間利用者数(人)
4.5【6.0】	471【640】

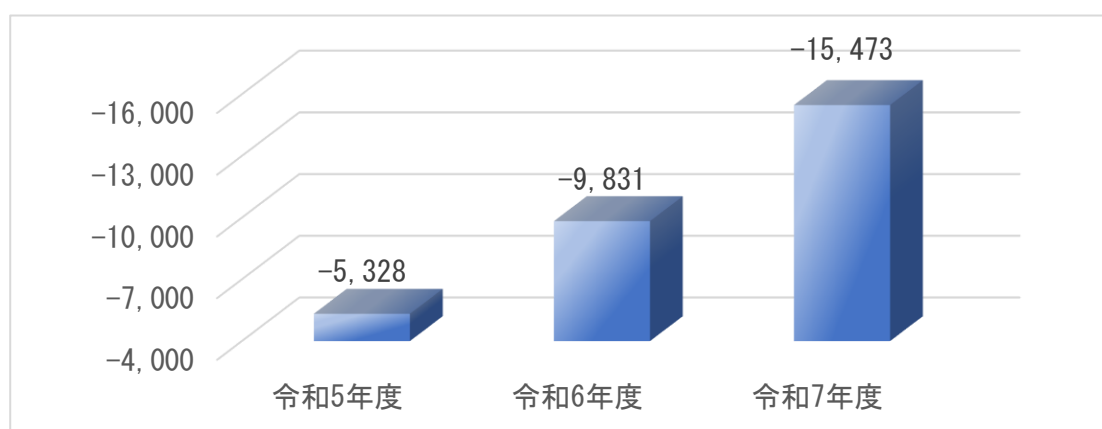
5 介護保険事業所収支状況(資金収支決算総括表)

【ケアプランセンター事業 ホームヘルパー事業所 霞の郷デイサービスセンター事業 訪問入浴介護事業】

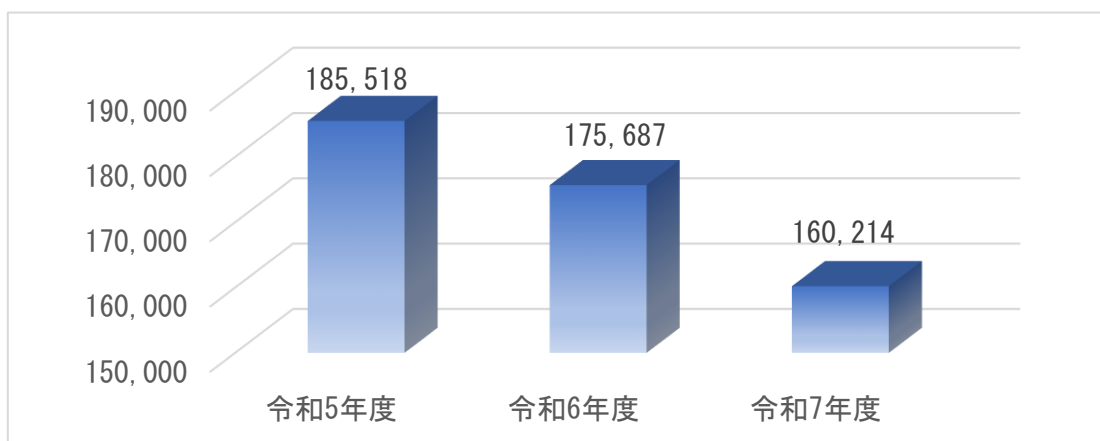
(単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入合計	183,041	179,338	160,977
支出合計	188,369	189,169	176,450
収支額	△5,328	△9,831	△15,473
当期末支払資金残高	185,518	175,687	160,214

【参考】収支の状況



【参考】当期末支払資金残高の状況



6 研修の実施状況

事業所名	内部研修		外部研修	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
ケアプランセンター	5	12	15	18
ホームヘルプステーション	16	217	6	7
霞の郷デイサービスセンター	11	143	10	22
訪問入浴ステーション	13	72	1	1

## 6. 障がい者支援事業

地域との連携強化を目的に「希望園運営委員会」を立ち上げ、住民代表、ボランティア、関係機関等が参加し、サービスの質の向上と地域課題の解決に取り組んだ。この取り組みにより、地域性を踏まえた事業運営の基盤整備が進み、地域共生社会の実現に向けた活動を推進できる体制を整えることができた。

- 1 希望園就労継続支援B型事業（多機能型） 定員 20 人 営業日数 242 日

月平均利用者(人)	延年間利用者数(人)	1日当りの利用者数(人)	月平均工賃(円)
19【20】	2,930【3,010】	12.1【12.4】	18,440【19,264】

- 2 希望園生活介護事業（多機能型） 定員 10 人 営業日数 242 日

月平均利用者数(人)	延年間利用者数(人)	1日当りの利用者数(人)
11【10】	1,775【1,820】	7.3【7.5】

- 3 希望園放課後等デイサービス事業 定員 10 人 営業日数 242 日

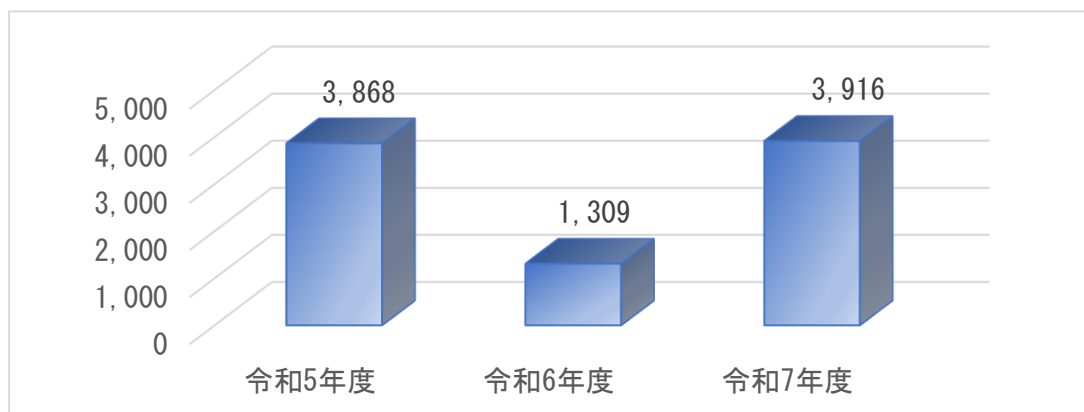
月平均利用者数(人)	延年間利用者数(人)	1日当りの利用者数(人)
18【15】	2,120【2,170】	8.8【8.9】

- 4 三国希望園の収支状況

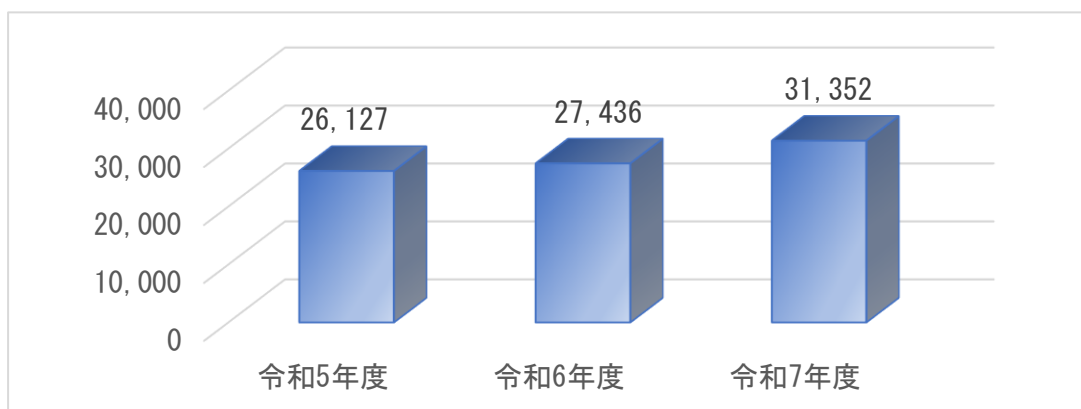
【就労継続支援B型事業 生活介護事業 放課後等デイサービス事業】（単位：千円）

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入合計	64,756	70,351	65,232
支出合計	60,888	69,042	61,316
収支額	3,868	1,309	3,916
当期末支払資金残高	26,127	27,436	31,352

【参考】収支の状況



【参考】当期末支払資金残高の状況



5 研修の実施状況

事業所名	内部研修		外部研修	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
就労継続支援B型事業	14	92	9	12
生活介護事業			8	14
放課後等デイサービス	16	87	7	8
特定相談支援事業	5	10	20	23

## 7. 福祉施設運営事業

利用者が安全・安心に施設を利用できるよう、感染拡大防止策を継続しながら、各施設の適切な管理運営を行った。

### 1 春江総合福祉センター運営事業（市補助事業） 11,351,304 円

高齢者や障がい者に対し、憩いの場や相互交流の機会を提供した。令和8年3月末の閉館に向け、計画的な周知や代替場所の調整を重点的に実施するとともに、3月12日には「お別れ会」を開催し、長年親しまれた施設への感謝と利用者同士の絆を再確認する機会を設けた。閉館直前まで地域福祉の拠点としての機能を維持した。

閉館に伴い、基本財産の処分（基本財産からその他財産への移行）および定款の一部変更を行った。

開館日数： 241 日 【243 日】

利用者数： 3,425 人（一般 2,595 人、会議等 830 人） 【4,015 人】

（※友遊クラブの利用者数は地域介護予防活動支援事業に掲載）

### 2 坂井老人福祉センター運営事業（市補助事業） 7,202,608 円

高齢者や障がい者に憩いの場を提供し、社会参加や趣味活動を通じて仲間づくりを促進することで、生きがいの創出と地域で元気に暮らせる環境づくりに取り組んだ。

開館日数： 289 日 【291 日】

利用者数： 4,063 人 【4,093 人】

（※おいでの会の利用者数は地域介護予防活動支援事業に、学習支援の利用者数は生活困窮者自立支援事業に掲載）

### 3 坂井健康増進センター運営事業（市受託事業） 2,983,000 円

坂井老人福祉センターに隣接する坂井健康増進センターにおいて、入浴利用者の受付業務を行うとともに、住民の健康づくりを目的としたセミナー等を実施した。令和7年度末でもって閉館した。

開館日数： 202 日 【116 日】

利用者数： 3,695 人 【1,458 人】 ※故障なく増数

### 4 あい愛センター運営事業 1,961,403 円

社協みくに支部の事務所として、地域づくりやボランティア活動の推進、高齢者の介護予防の拠点となり、サロン、趣味活動、生きがいづくり、仲間づくりなど地域に根ざした事業を展開した。

開館日数： 243 日 【243 日】

利用者数： 3,563 人 【3,407 人】

(※あい愛サロンの利用者数は地域介護予防活動支援事業に掲載)

- 5 社協本部運営事業(市補助事業) 4,206,950 円(内市補助分 3,203,295 円)  
社協の法人運営および各種事業を統括する本部機能を発揮し、社協関係の会議や研修の場として活用した。

利用者数： 5,878 人 【6,211 人】

- 6 三国希望園指定管理運営事業(市指定管理)

指定管理者として施設の安全確保と適切な維持管理を行うとともに、障がい理解の促進、住民参加による施設づくり、ボランティア同士のネットワークの強化など、地域共生社会の実現に向けた多面的な取り組みを推進した。

開館日数： 242 日 【267 日】

利用者数： 7,451 人 【7,478 人】

① 障がい理解を通じた取り組み

地元住民を中心に、障がい者との共同作業や余暇活動への参加を促進するとともに、民生委員・児童委員協議会(障がい部会)を対象に勉強会を実施し、障がい理解の推進に取り組んだ。

② ボランティア交流会の実施

希望園にかかわるボランティアが個人・団体を越えて集い、活動内容の共有や意見交換を行う交流会を開催し、地域内のつながりと協働体制の強化につなげた。

③ 住民性あふれる施設づくり

希望園運営委員会を立ち上げ、地域共生社会の実現に向け、住民参加型の施設運営体制の構築を進めた。

令和7年度決算額比較表(拠点区分間繰入金を含む)

拠点区分	収入				支出				R7収支差額	R6収支差額	比較
	R7年度 決算額	R6年度 決算額	増減	前年比	R7年度 決算額	R6年度 決算額	増減	前年比			
1 法人運営事業	70,176,474	68,527,690	1,648,784	102.4%	74,715,679	79,001,603	△ 4,285,924	94.6%	△ 4,539,205	△ 10,473,913	5,934,708
2 地域福祉活動推進事業	89,753,340	84,447,845	5,305,495	106.3%	89,753,340	84,447,845	5,305,495	106.3%	0	0	0
3 福祉サービス利用支援事業	98,664,320	105,128,023	△ 6,463,703	93.9%	98,485,342	104,794,935	△ 6,309,593	94.0%	178,978	333,088	△ 154,110
4 生活支援事業	59,190,481	55,896,628	3,293,853	105.9%	59,190,481	55,896,628	3,293,853	105.9%	0	0	0
5 共同募金助成金事業	12,804,928	9,654,220	3,150,708	132.6%	11,709,443	8,767,051	2,942,392	133.6%	1,095,485	887,169	208,316
6 介護保険事業	160,977,087	180,129,839	△ 19,152,752	89.4%	176,449,690	189,960,858	△ 13,511,168	92.9%	△ 15,472,603	△ 9,831,019	△ 5,641,584
7 障がい者総合支援事業	65,232,032	70,351,093	△ 5,119,061	92.7%	61,316,115	69,041,867	△ 7,725,752	88.8%	3,915,917	1,309,226	2,606,691
8 福祉施設運営事業	28,913,304	28,331,781	581,523	102.1%	28,913,304	28,331,781	581,523	102.1%	0	0	0
9 基金運営事業	1,716,985	3,021,187	△ 1,304,202	56.8%	1,716,985	3,021,187	△ 1,304,202	56.8%	0	0	0
合 計	587,428,951	605,488,306	△ 18,059,355	97.0%	602,250,379	623,263,755	△ 21,013,376	96.6%	△ 14,821,428	△ 17,775,449	2,954,021



拠点区分	令和6年度	令和7年度											
	決算額	当初 予算額	5次補正後 予算額	決算額	法人運営 事業	地域福祉 活動推進 事業	福祉サービス 利用支援 事業	生活支援 事業	共同募金 助成金 事業	介護保険 事業	障がい者 総合支援 事業	福祉施設 運営事業	基金 運営事業
<b>その他の活動による収入</b>													
積立資産取崩収入	15,121,036	47,227,000	6,245,000	5,990,728	4,945,728	0	0	0	0	800,000	0	0	245,000
拠点区分間繰入金収入	21,893,521	54,846,000	9,549,000	7,363,761	3,375,267	0	1,045,000	17,483	0	0	0	2,926,011	0
サービス区分間繰入金収入	792,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動による収入	41,723	0	877,000	876,712	876,712	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>その他の活動等収入計(7)</b>	<b>37,848,440</b>	<b>102,073,000</b>	<b>16,671,000</b>	<b>14,231,201</b>	<b>9,197,707</b>	<b>0</b>	<b>1,045,000</b>	<b>17,483</b>	<b>0</b>	<b>800,000</b>	<b>0</b>	<b>2,926,011</b>	<b>245,000</b>
<b>その他の活動による支出</b>													
積立資産支出	447,738	15,000	1,732,000	1,489,332	6,897	10,450	0	0	0	0	0	0	1,471,985
拠点区分間繰入金支出	21,893,521	54,846,000	9,549,000	7,363,761	2,943,494	540,959	451,800	153,004	0	2,616,523	412,981	0	245,000
サービス区分間繰入金支出	792,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動による支出	2,905,619	4,377,000	4,524,000	2,802,807	2,802,807	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>その他の活動等支出計(8)</b>	<b>26,039,038</b>	<b>59,238,000</b>	<b>15,805,000</b>	<b>11,655,900</b>	<b>5,753,198</b>	<b>551,409</b>	<b>451,800</b>	<b>153,004</b>	<b>0</b>	<b>2,616,523</b>	<b>412,981</b>	<b>0</b>	<b>1,716,985</b>
<b>その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)</b>	<b>11,809,402</b>	<b>42,835,000</b>	<b>866,000</b>	<b>2,575,301</b>	<b>3,444,509</b>	<b>△ 551,409</b>	<b>593,200</b>	<b>△ 135,521</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,816,523</b>	<b>△ 412,981</b>	<b>2,926,011</b>	<b>△ 1,471,985</b>
<b>予備費支出(10)</b>													
<b>当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)</b>	<b>△ 17,775,449</b>	<b>△ 12,372,000</b>	<b>△ 25,670,000</b>	<b>△ 14,821,428</b>	<b>△ 4,539,205</b>	<b>0</b>	<b>178,978</b>	<b>0</b>	<b>1,095,485</b>	<b>△ 15,472,603</b>	<b>3,915,917</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>前期末支払資金残高</b>	<b>294,278,383</b>	<b>282,568,000</b>	<b>294,278,000</b>	<b>276,502,934</b>	<b>33,019,032</b>	<b>764,205</b>	<b>3,062,622</b>	<b>4,468,524</b>	<b>31,875,786</b>	<b>175,686,905</b>	<b>27,436,429</b>	<b>189,431</b>	<b>0</b>
<b>当期末支払資金残高(11)+(12)</b>	<b>276,502,934</b>	<b>270,196,000</b>	<b>268,608,000</b>	<b>261,681,506</b>	<b>28,479,827</b>	<b>764,205</b>	<b>3,241,600</b>	<b>4,468,524</b>	<b>32,971,271</b>	<b>160,214,302</b>	<b>31,352,346</b>	<b>189,431</b>	<b>0</b>

在宅福祉サービス事業の状況

6 介護保険事業

	事業所名		令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度			令和8年度	
						現計予算(5次)	決算額	差異	当初予算額	備考( )R7当初予算額
事業活動による収支(事業本体に係る収支)	ケアプランセンター	予防(延人数)	84	61	350	660	503	△ 157	540	・介護保険事業収入 17,928千円(15,890) ・人件費 16,139千円(13,727) ・事業費 449千円(695) ・事務費 948千円(842)
		要介護(延人数)	1,108	985	985	1,080	897	△ 183	1,140	
		(計)	1,192	1,046	1,335	1,740	1,400	△ 340	1,680	
		事業活動収入計	16,555,537	13,015,437	15,022,278	14,910,000	13,253,954	△ 1,656,046	17,978,000	
		事業活動支出計	18,291,471	16,811,193	16,662,874	17,064,000	16,858,775	△ 205,225	17,536,000	
		収支差額	△ 1,735,934	△ 3,795,756	△ 1,640,596	△ 2,154,000	△ 3,604,821	△ 1,450,821	442,000	
	ホームヘルプ	予防(延人数)	1,260	974	658	540	782	242	612	・介護保険事業収入 24,174千円(29,705) ・障がい福祉サービス事業収入 40,967千円(38,221) ・人件費 60,094千円(61,318) ・事業費支出 3,689千円(4,126) ・事務費 2,743千円(2,036)
		介護(延人数)	7,197	6,471	5,193	6,144	4,551	△ 1,593	5,556	
		障がい(延人数)	7,214	6,856	8,498	8,644	8,638	△ 6	9,528	
		(計)	15,671	14,301	14,349	15,328	13,971	△ 1,357	15,696	
		事業活動収入計	64,392,865	66,559,393	64,044,581	66,322,000	63,289,438	△ 3,032,562	65,825,000	
		事業活動支出計	64,536,738	66,398,578	62,151,667	67,692,000	65,574,021	△ 2,117,979	66,526,000	
	収支差額	△ 143,873	160,815	1,892,914	△ 1,370,000	△ 2,284,583	△ 914,583	△ 701,000		
	デイサービス	営業日数	305	307	303	309	309	0	310	・介護保険事業収入 56,105千円(75,078) ・障がい福祉サービス事業収入 5,103千円(4,394) ・人件費 63,209千円(70,457) ・事業費 11,908千円(15,503) ・事務費 1,625千円(1,542)
		予防(延人数)	924	1,094	800	780	744	△ 36	726	
		介護(延人数)	6,002	6,328	5,924	6,420	5,133	△ 1,287	4,992	
		障がい(延人数)	201	269	301	384	630	246	483	
		(計)	7,127	7,691	7,025	7,584	6,507	△ 1,077	6,201	
		1日の利用者数	23.4	25.1	23.2	24.5	21.1	△ 3.5	20.0	
		事業活動収入計	71,459,956	77,179,359	73,140,934	70,818,000	66,668,062	△ 4,149,938	61,666,000	
		事業活動支出計	79,647,341	81,024,045	82,576,170	82,002,000	74,881,747	△ 7,120,253	76,742,000	
	収支差額	△ 8,187,385	△ 3,844,686	△ 9,435,236	△ 11,184,000	△ 8,213,685	2,970,315	△ 15,076,000		
	訪問入浴	介護(延人数)	1,085	959	809	936	752	△ 184	780	・介護保険事業収入 11,363千円(13,692) ・障がい福祉サービス事業収入 6,828千円(8,078) ・人件費 14,707千円(17,125) ・事業費 1,315千円(1,552) ・事務費 925千円(707)
		障がい(延人数)	698	712	640	636	471	△ 165	540	
		(計)	1,783	1,671	1,449	1,572	1,223	△ 349	1,320	
		事業活動収入計	24,462,598	22,695,241	19,957,842	18,791,000	16,965,633	△ 1,825,367	18,291,000	
		事業活動支出計	20,929,354	19,688,333	20,074,632	19,383,000	16,518,624	△ 2,864,376	16,947,000	
	収支差額	3,533,244	3,006,908	△ 116,790	△ 592,000	447,009	1,039,009	1,344,000		
	事業活動資金 収支合計	(1)事業活動収入計	176,870,956	179,449,430	172,165,635	170,841,000	160,177,087	△ 10,663,913	163,760,000	
		(2)事業活動支出計	183,404,904	183,922,149	181,465,343	186,141,000	173,833,167	△ 12,307,833	177,751,000	
(3)事業活動収支差額		△ 6,533,948	△ 4,472,719	△ 9,299,708	△ 15,300,000	△ 13,656,080	1,643,920	△ 13,991,000		
施設整備等 による収	施設整備等資金 収支合計	(4)施設整備等収入計	1,610,000	898,400	1,179,380	0	0	0	0	(5)固定資産取得支出 1,000千円
		(5)施設整備等支出計	3,206,170	1,185,000	4,748,900	0	0	0	1,000,000	
		(6)施設整備等収支差額	△ 1,596,170	△ 286,600	△ 3,569,520	0	0	0	△ 1,000,000	
その他の 支活動資金 収	その他の 活動資金 収支合計	(7)その他活動収入計	0	2,693,000	5,992,664	1,054,000	800,000	△ 254,000	1,000,000	(7)積立資産取崩収入 1,000千円 (8)拠点区分間繰入金支出 1,860千円 (法人運営事業へ退職共済掛金914千円 健診・インフル・互助会・利息946千円)
		(8)その他活動支出計	1,666,596	3,261,742	2,954,455	3,055,000	2,616,523	△ 438,477	1,860,000	
		(9)その他活動収支差額	△ 1,666,596	△ 568,742	3,038,209	△ 2,001,000	△ 1,816,523	184,477	△ 860,000	
<b>(11)当期資金収支差額合計</b>		<b>△ 9,796,714</b>	<b>△ 5,328,061</b>	<b>△ 9,831,019</b>	<b>△ 17,301,000</b>	<b>△ 15,472,603</b>	<b>1,828,397</b>	<b>△ 15,851,000</b>		
<b>(12)前期末資金残高</b>		<b>200,642,699</b>	<b>190,845,985</b>	<b>185,517,924</b>	<b>175,687,000</b>	<b>175,686,905</b>	<b>△ 95</b>	<b>158,386,000</b>		
<b>(13)当期末支払資金残高</b>		<b>190,845,985</b>	<b>185,517,924</b>	<b>175,686,905</b>	<b>158,386,000</b>	<b>160,214,302</b>	<b>1,828,302</b>	<b>142,535,000</b>		

7 障がい者総合支援事業

	事業所名		令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度			令和8年度	
						現計予算(5次)	決算額	差異	当初予算額	備考( )R7当初予算額
事業活動による収支(事業本体に係る収支)	就労支援B型	営業日数	244	243	243	242	242	0	241	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉サービス事業収入28,358千円(26,886)</li> <li>就労支援事業収入 3,526千円(3,430)</li> </ul>
		延人数	2,402	2,986	3,010	3,288	2,947	△ 341	3,552	
		1日の利用者数	9.8	12.3	12.4	13.6	12.2	△ 1.4	14.7	
		事業活動収入計	20,391,106	25,888,969	28,736,536	30,386,000	26,893,154	△ 3,492,846	32,026,000	
		事業活動支出計	22,642,323	24,476,617	26,656,748	27,928,000	26,120,054	△ 1,807,946	31,521,000	
		収支差額	△ 2,251,217	1,412,352	2,079,788	2,458,000	773,100	△ 1,684,900	505,000	
	生活介護	営業日数	242	243	243	242	242	0	241	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉サービス事業収入16,993千円(16,633)</li> <li>就労支援事業収入 60千円(144)</li> </ul>
		延人数	1,428	1,694	1,820	1,968	1,905	△ 63	1,776	
		1日の利用者数	5.9	7.0	7.5	8.1	7.9	△ 0.3	7.4	
		事業活動収入計	12,873,864	14,821,139	15,977,433	16,812,000	16,377,632	△ 434,368	17,112,000	
		事業活動支出計	13,015,032	13,613,911	17,488,627	16,987,000	16,154,650	△ 832,350	15,569,000	
		収支差額	△ 141,168	1,207,228	△ 1,511,194	△ 175,000	222,982	397,982	1,543,000	
	放課後等デイ	営業日数	293	243	243	242	242	0	241	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉サービス事業収入22,021千円(21,605)</li> </ul>
		延人数	2,303	2,141	2,170	2,178	2,120	△ 58	2,178	
		1日の利用者数	7.9	8.8	8.9	9.0	8.8	△ 0.2	9.0	
		事業活動収入計	24,127,296	22,832,740	23,149,124	21,639,000	21,961,246	322,246	22,079,000	
		事業活動支出計	20,494,393	20,982,829	22,436,935	21,035,000	18,628,430	△ 2,406,570	21,071,000	
		収支差額	3,632,903	1,849,911	712,189	604,000	3,332,816	2,728,816	1,008,000	
	日中一時支援	営業日数	50	50	23					
		延人数	125	123	64					
		1日の利用者数	2.5	2.5	2.8					
	事業活動資金 収支合計	事業活動収入計	57,392,266	63,542,848	67,863,093	68,837,000	65,232,032	△ 3,604,968	71,217,000	
		事業活動支出計	56,151,748	59,073,357	66,582,310	65,950,000	60,903,134	△ 5,046,866	68,161,000	
		収支差額	1,240,518	4,469,491	1,280,783	2,887,000	4,328,898	1,441,898	3,056,000	
施設整備等 支等による収	施設整備等資金 収支合計	(4)施設整備等収入計	781,000	0	925,000	0	0	0	0	(5)固定資産取得支出 187千円
		(5)施設整備等支出計	882,200	1,367,000	2,039,060	0	0	0	187,000	
		(6)収支差額	△ 101,200	△ 1,367,000	△ 1,114,060	0	0	0	△ 187,000	
その他の 支活動資金 収	その他の 活動資金 収支合計	(7)その他活動収入計	0	1,213,000	1,563,000	0	0	0	0	(8)拠点区分間繰入金支出 556千円 (法人運営事業へ退職共済掛金343千円、健診・インフル・互助会・利息213千円)
		(8)その他活動支出計	441,390	447,313	420,497	666,000	412,981	△ 253,019	556,000	
		(9)その他活動収支差額	△ 441,390	765,687	1,142,503	△ 666,000	△ 412,981	253,019	△ 556,000	
<b>(11)当期資金収支差額合計</b>			<b>697,928</b>	<b>3,868,178</b>	<b>1,309,226</b>	<b>2,221,000</b>	<b>3,915,917</b>	<b>1,694,917</b>	<b>2,313,000</b>	
<b>(12)前期末資金残高</b>			<b>21,561,097</b>	<b>22,259,025</b>	<b>26,127,203</b>	<b>27,437,000</b>	<b>27,436,429</b>	<b>△ 571</b>	<b>29,657,000</b>	
<b>(13)当期末支払資金残高</b>			<b>22,259,025</b>	<b>26,127,203</b>	<b>27,436,429</b>	<b>29,657,000</b>	<b>31,352,346</b>	<b>1,695,346</b>	<b>31,970,000</b>	